

一関市水安全計画

(概要版)



平成31年3月
一関市水道部

策定の目的

本市では、これまで市民の皆様に安心・安全で良質な水道水をお届けするために、水源水質の監視や適切な浄水処理をはじめ、水系ごとのきめ細やかな水質検査を実施し万全を期してきました。

しかしながら、近年は人口減少に伴う水需要の減少、水道施設や水道管の老朽化、豊富な経験を有するベテラン職員の減少など、水道水を取り巻く環境が変化していることから、より安心・安全で良質な水道水をお届けするために、食品製造分野で確立されているHACCP※の手法を水道水の水質管理に導入した水安全計画を策定しました。

※HACCP（ハサップとは）

Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。

食品原料の入荷から製品の出荷までのあらゆる工程における危害原因を明確し、危害原因排除のための管理すべき工程を重点的かつ継続的に監視する衛生管理手法のこと。

基本方針

●安全性の向上

現場における危害の把握と水質管理方法を体系的に整理し、初動対応の明確化による安全性の向上を図ります。

●安心・安全な水の供給

きめ細やかな水質管理と水質の状況に応じた浄水処理により、安心・安全な水が常に供給できる体制の確立を図ります。

●技術の継承

危害への対応方法等をマニュアル化することにより、確実な技術の継承が可能となります。

●関係者の連携強化

水源から蛇口まで各段階を視野に入れた危害分析・管理方法の検討を通じて、事業に携わる関係者の連携した取組を推進します。

●維持管理の向上と効率化

危害原因を明確化し、管理の優先順位や方法を明らかにすることにより、維持管理水準の向上と効率化を目指します。

危害分析

●危害の抽出と評価

【何が危害の原因となるかを明確にする。】

○水源から蛇口までの過程において、水道水の水質に影響を及ぼす可能性のある危害を抽出し、その種類、発生箇所、発生頻度及び影響度の大きさを危害評価しました。

●管理対応措置の設定

【危害を管理する管理点を設定し、対応策を整理する。】

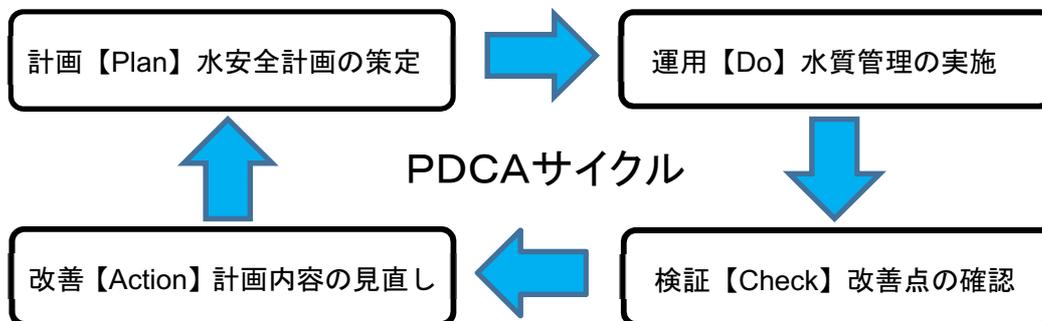
○危害評価で特定した危害について、危害の発生を最小限にとどめるため、その影響度の大きさに対応した管理対応方法を定め、管理対応マニュアルを作成しました。

水安全計画の策定による効果

- 危害発生の予兆段階で必要な対応をとることにより、水質への影響を未然に防止することができます。
- 危害を的確に把握し、対応方法や優先順位が明らかになることにより、水質異常時に的確かつ迅速な対応が可能になります。
- 技術的な事柄について明文化し、共有することで技術の継承を図ることができます。

水安全計画の管理運用

- 水安全計画の適切な運用がなされているか、定期的な確認・評価を行います。



- 浄水処理施設の変更（新規・更新等）や、設定した内容に不都合が生じた場合などの見直しを行います。

水安全計画のイメージ



水道事業ビジョンに掲げる将来像

「市民がいつでもどこでもおいしく飲める
安全な水道水の供給」を実現